

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

| | |
|--|--------------------------|
| 名称：辻堂ももはな保育園 | 種別：認可保育所 |
| 代表者氏名：須藤 美紀 | 定員（利用人数）：64名（50名） |
| 所在地：〒251-0056 藤沢市羽鳥1-1-20 | |
| TEL：0466-53-9451 | |
| ホームページ：http://tomoni.or.jp/office/nursery/index.html | |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：2020年7月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人県央福社会 | |
| 職員数 | 常勤職員： 10名 非常勤職員： 8名 |
| 専門職員 | 保育士 15名 用務員 1名 |
| | 事務員 1名 |
| | 調理員 4名 |
| 施設・設備の概要 | （居室数）保育室6、トイレ7、調理室1、事務室1 |
| | （設備等）園庭無、3階バルコニー |

③理念・基本方針

辻堂ももはな保育園の理念
あそびを通して、「あたま・からだ・こころ」を育てる事を目標として学びに向かう土台づくりをいたします。

保育方針

- ①一人一人の成長・発達を理解し、子どもの個性・人格を育みます。
- ②人とのかわり、人を大切にする心をつくります。
- ③安全で安心できる 人的・物的保育環境を整えます。
- ④遊びを通して元気な体をつくります。
- ⑤発達に応じたさまざまな食の体験をし、気持ちよく楽しく食事をします。
- ⑥保護者との連携を強めて、地域と一緒に子どもの成長を支えます。
- ⑦地域との連携を強めて、地域と一緒に子どもの成長を支えます。
- ⑧障がい児保育にも取り組みます。
- ⑨専門家の研修を受けられる環境を設定し、保育の資質向上に努めています。

④施設・事業所の特徴的な取組

開園して1年、コロナ禍の中で保育活動も制限されているが、子どもの命を守るという事を第一に考え保育をしています。子どもの最善の利益を常に考えた保育をしていきたいと考えています。

事業所としてユニークで独創的な取組

- ①保育参加

②こども110番

③世代間交流

④日本の伝統文化に触れる

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 令和3年4月27日（契約日） ～ 令和3年10月22日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | - 回（- 年度） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 地域に根差す園をめざし、地域への支援を行っています

園は、子どもの命を守るという事を第一に考え、子どもの最善の利益を常に考えた保育をしています。開設から1年余りですが、園長は地域の特性を把握して、コロナ禍でも自治会の回覧板や園前の掲示板を通じて、園の行事等を紹介しています。また、地域の子どもの安全を考慮して子ども110番の登録をし、緊急避難場所の一つとして助け合いの場を提供しています。園が行っている栄養相談や育児相談等地域支援の取組について紹介するなど、地域へ向けた情報提供を行っています。

2) ITCを活用し、連絡や情報共有に役立てています

園では連絡帳アプリケーションを導入し、情報提供の利便性を図っています。保護者はお休み、遅刻連絡、お迎えに来る人の変更等をスマートフォン等の端末で行うことができます。保護者への連絡もアプリケーションから伝えることができ、お迎え時には事前にその日の出来事や体調等が分かる事で職員、保護者相互の情報伝達もスムーズになりました。アプリケーション内に写真を掲載できる事で園での子どもの様子を保護者に伝えやすくなりました。保育士は園児の状態を直接把握することが出来て、朝の忙しい時間の有効活用にも役立っています。情報共有の下に保育士は子ども一人ひとりに向き合う時間が増え、子どもとの信頼関係も深くなっています。

◇改善を求められる点

1) 主体的に遊び込める環境構成の更なる検討

各クラスには年齢や発達に応じたおもちゃや絵本が収納され、職員が子どもの興味、関心に合わせて数種類のおもちゃ等を用意していますが、子どもが自主的・主体的に遊び込める環境という点ではまだ十分でないところが見受けられます。子どもの目線に合わせた高さにおもちゃや絵本を数多く備えたり、遊びごとのコーナーを設定したり、探索しながら子どもが興味や関心を持ち、自主的、自発的におもちゃ等を選んで遊び、遊んだ後は自分で片付けることができるような保育室の環境構成について検討されることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して1年経つが第三者評価を受審をし、課題がはっきりと見えてきました。辻堂ももはな保育園の理念でもある、あそびを通して、「あたま・からだ・こころ」を育てる事を目標として学びに向かう土台づくりをする。としてある中で、保育室の環境や戸外活動を行う際の環境構成の見直し、検討をして子どもたちがたくさんのかことを学べるようにしていきたいと思います。また、職員の保育の質を上げられるよう、園内研修を行ったり、外部の研修に参加したりしていきたいです。安全で、安心して過ごせるような環境を職員みんなが同じ気持ちで作っていかれたらと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり